

令和6年度 地方創生の取組状況について

松本市

1 第2期松本版地方創生総合戦略の位置付けと成果指標

- 第2期松本版地方創生総合戦略は、まちづくりをより総合的かつ効果的に行うために、第11次基本計画に包含する計画としています。第11次基本計画を推進することで、松本市の地方創生の実現を図ります。
- 第11次基本計画の成果指標のうち、12指標を地方創生の成果指標として選定しています。

No.	第11次基本施策名	成果指標
1	1-1 結婚・出産・子育て支援の充実	合計特殊出生率
2	3-4 働き盛り世代の移住・定住推進	行政サポートによる移住世帯数
3	3-4 働き盛り世代の移住・定住推進	松本市への転入者と松本市からの転出者の差
4	5-2 地域交通ネットワークの拡充	路線バス等利用者数
5	6-1 新商都松本の創造	中心市街地の歩行者交通量
6	6-2 ものづくり産業の活性化	製造品出荷額等

No.	第11次基本施策名	成果指標
7	6-2 ものづくり産業の活性化	サザンガクの支援・連携事業者数
8	6-3 雇用対策と働き方改革の推進	生涯現役促進地域連携事業による高年齢求職者の就業者数
9	6-5 異業種連携による食産業の振興	農商工連携による新たな商品開発件数
10	6-6 地域特性を活かした新産業の創出	モニタリング事業・実用化検証助成事業等実施件数
11	7-4 変化する時代の観光戦略	市内観光地延べ利用者数
12	7-4 変化する時代の観光戦略	外国人旅行者宿泊者数

- 第11次基本計画は、DX・デジタル化を重点戦略に掲げ、基本施策に取組みの方向性を示すなど、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案した内容となっています。

2 令和6年度地方創生の取組状況

No.	成果指標	基準値	目標値	現状値	R 6 年度の主な取組み	補足
1	合計特殊出生率	1.56 (H25-29平均)	1.62 (H30-R4平均)	1.44 (H30-R4平均)	- これまで医療機関ごとに月額500円となっていた18歳以下の医療費の窓口負担を完全無料化し、子育て世帯の経済的負担を軽減 - 松本市インクルーシブセンターを開設し、発達障がいや発達に心配のある子ども、医療的ケアが必要な子ども等を継続して総合的に支援する体制を整備（まつもとふたばネットワーク(電子@連絡帳)利用者数 181人）	R6年の松本市における出生数は1,457人(前年1,447人)であり、+10人の増加となった。また、その他増減を含む社会増減数（転入-転出）は+110人であり、前年に続き社会増となった。
2	行政サポートによる移住世帯数	22世帯 (R 2 年度)	52世帯 (R 7 年度)	57世帯 (R 6 年度)	- セイコーエプソン(株)との包括連携協定に基づき、東京で開催された移住転職セミナーに参加(参加者42人) - 長野県移住モデル地区である安曇地区大野川区を紹介するイベントに参加(参加2回、参加者7組) - 窓口、オンライン等多様なツールを活用した移住相談業務を実施(年間移住相談件数 697件) 国、県と連携して交付するU I J ターン就業・創業移住支援事業補助金について、移住した子育て世帯に対し、子ども1人当たり100万円の補助金額を加算(交付件数 83件) - WE B 広告を活用し、大都市圏の子育て・働き盛り世代をターゲットとした移住プロモーションを実施	ジェンダー平等を重要な社会インフラと位置付け、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のあるまちを目指し、女性と若者に選ばれる「共働き・共育て」社会の実現を目指す。
3	松本市への転入者と松本市からの転出者の差	369人 (R 2 年)	995人 (R 7 年)	181人 (R 6 年)		
4	路線バス等利用者数	2,695千人 (R 元年)	3,072千人 (R 7 年)	2,343千人 (R 6 年)	- 公設民営バス「ぐるっとまつもと」のクレジット決済機能の読取速度の改善及びスマホタッチ対応を実施し、松本山雅との連携によるプロモーションを展開。更なる利便性の向上に向けて、運賃政策の検討を開始 - 路線バスのダイヤ改正(大久保工場団地線と神林ライナーを統合し、大久保工場団地・神林線に名称変更)により運行を効率化 - 公共交通のサービス水準を向上するため、ライフスクエアコモ庄内バス停に、より快適に過ごせるよう上屋やベンチを設置し、「バス待ち環境」を整備	

No.	成果指標	基準値	目標値	現状値	R 6 年度の主な取組み	補足
5	中心市街地の歩行者交通量	90,641人／日 (R元年)	133,200人／日 (R 7年)	102,957人／日 (R 6年)	・商店街の賑わい創出による中心市街地の活性化を目的として、商店街が実施する事業に対し補助を実施（15件） ・商業の活力増進を図ることを目的として、商店街の空き店舗を賃借して開業する事業者へ家賃補助を実施（5件） ・公園通り再整備後の歩行者の安全確保及び道路空間の利活用のため、土曜日、日曜日及び祝日の午前11時から翌午前0時まで車両の通行を規制し、歩行者天国を実施 ・大名町通りの高質化整備に向けた景観設計・詳細設計に着手し、三の丸エリアプラットフォームがフルフラット化された状態を再現する社会実験を実施	
6	製造品出荷額等	5,810億円 (H30年)	5,966億円 (R 7年)	5,304億円 (R 4年)	・地域の中核となる企業に対し、新商品開発や新規の設備導入に係る費用の一部を補助（地域中核企業支援事業補助金 4件、製造業等活性化支援事業助成金 6件、製造業等販路拡大支援事業補助金 22件） ・中小製造業者等が行う経営力の強化・技術力の向上を目的とした人材育成事業に係る費用の一部を補助（製造業等人材育成事業補助金 7件 12人）	
7	サザンガクの支援・連携事業者数	60件 (R 2年度)	120件 (R 7年度)	163件 (R 6年度)	・サザンガクにおいて人材育成等のセミナーや事業者間のマッチングイベント等を実施 個社支援実施件数 46件 テレワーク受注額 2,376万円 (25社) サテライトオフィス入居事業者 16社 コワーキングスペース利用者数 2,785人 (累計会員数 76人)	
8	生涯現役促進地域連携事業による高年齢求職者の就業者数（累計）	22人 (R 2年度)	110人 (R 7年度)	43人 (R 3年度)	なし (令和3年度で事業完了)	

No.	成果指標	基準値	目標値	現状値	R 6 年度の主な取組み	補足
9	農商工連携による新たな商品開発件数 (累計)	13件 (R 2 年度)	28件 (R 7 年度)	14件 (R 6 年度)	・松本市農畜産物販売促進事業補助金を活用した市内の企業による新たな商品開発 1件 ・生産者、食品製造業者、販売者等を対象に課題解決や協働のきっかけづくりの場として異業種交流会を2回開催（延べ39人参加）	
10	モニタリング事業・実用化検証助成事業等実施件数 (累計)	63件 (R 2 年度)	85件 (R 7 年度)	103件 (R 6 年度)	・ヘルスケア分野での産業創出のため、松本ヘルス・ラボにおけるモニタリング事業4件や実用化検証助成4件を実施 ・市民参加の促進及び情報発信強化のため、「松本ヘルス・ラボ公式LINE」の運用開始	
11	市内観光地延べ利用者数	2,546,241人 (R 2 年)	5,470,000人 (R 7 年)	4,941,225人 (R 6 年)	・国宝旧開智学校校舎の再開館 ・「観パ良しまつもと」をキャッチコピーに、松本市の歴史資産、美術・工芸、食、温泉などの多様な魅力を発信。松本城及び旧開智学校校舎の「2つの国宝」に特化したプロモーション事業を集中的に実施 ・松本市の自然と歴史的文化遺産を観光誘客ツールとして活用し、「太鼓」と「光と氷」を核とするイベントを開催。冬季の誘客増を目指して実施する松本城イルミネーションを、R5年度からプロジェクションマッピングに変更し継続実施（来場者：太鼓まつり7,047人、氷彫フェスティバル51,385人、松本城イルミネーション172,905人） ・信州まつもと空港の就航先都市（札幌・大阪・神戸・福岡）から、空路を利用した誘客を図るため、誘客事業を実施	・新型コロナによる落込み後、人数が毎年増加しており、新型コロナ前の数値にほぼ回復（R6年の数値は、対R元年比99.3%） ・観光客一人当たりの消費額増加に向け、宿泊や周遊を促す取組みを進めている。
12	外国人旅行者宿泊者数	19,668人泊 (R 2 年)	207,000人泊 (R 7 年)	324,483人泊 (R 6 年)	・台湾及びタイを中心に広告宣伝、旅行博出展、現地旅行会社へのセールス、多言語パンフレット作成、情報発信等を実施 ・欧米豪の旅行者を中心に注目されているアドベンチャーツーリズム推進のため、体験コンテンツをまとめたウェブサイトの運営及びガイド育成を実施 ・松本市、長野市及び白馬村の観光連携協定に基づき、自治体間の送誘客事業として、白馬エリア滞在中のインバウンド向けウェブ広告事業、白馬村と共同で冬期バス運行事業を実施 ・松本・高山高付加価値化マスタープランに基づき、旅行会社の招請、ガイド育成及び商談会を実施	・R6年の数値は、対R元年比173%でコロナ前の数値を大幅に上回った。 ・元々訪問の多かった台湾やタイからの誘客を継続するとともに、消費額増加に向けた高付加価値化を進めている。

3 令和6年度地方創生関連施策の取り組み

(1) デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

事業名	R6年度事業概要
アートでまちなか「進化」プロジェクト	・ まちなかクラフトめぐり
	・ 松本城のプロジェクションマッピング
	・ ふるさと回帰支援センターを通じた移住PRを実施
体験・体感まつもと インバウンドを含む観光客の周遊及び長期滞在促進事業	・ アドベンチャーツーリズムのコンテンツ造成支援、ガイド育成
	・ タイ等への広告宣伝、イベント出展
	・ 観光周遊アプリの言語にフランス語を追加
	・ 乗鞍地域で脱炭素やサステナブルな取り組みを啓発するイベントの開催
「人」「仕事」「投資」が集まる、魅力あふれる“デジタルシティ松本”プロジェクト	・ デジタルシティ松本推進機構におけるプロジェクト推進
	・ 地域のデジタル化を担う人材の育成
	・ デジタルを活用した新規事業の創造に向けた企業の育成

(2) 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

「三ガク都」松本シンカ推進計画 2社 1,300千円

4 「人口定常化」実現に向けた取組み

(1) 取組みの方向性

将来に希望を持ち、安心して結婚・出産・育児ができる環境整備を行い、加えて、首都圏を中心とする大都市から松本市に魅力を感じて移住を考える人の着実な定着を促すことで、人口の維持・増加にチャレンジする。

(2) 2024年の人口推移

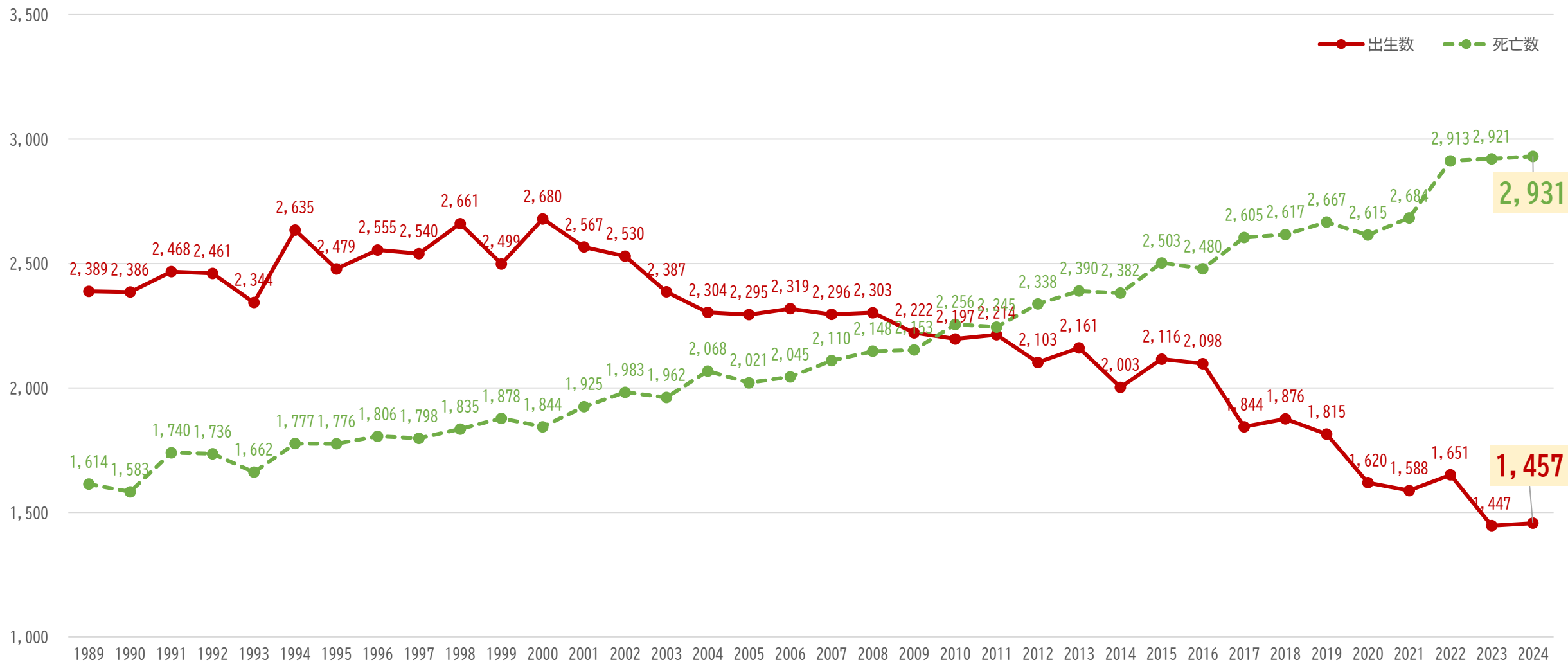
2024年の年間人口増減は、△1,364人（前年△973人）、増減率△0.57%（前年△0.41 %）となった。
（県内19市で減少幅が最も低かったのは佐久市の△0.31%（松本市は5位）。県内市郡別の増減率では、北安曇郡の+1.31%が最高）

市町村	2024年1月1日 現在総人口 (人)	2025年1月1日 現在総人口 (人)	人口 増減数 (人)	自然 増減数 (人)			社会 増減数 (人)	転入	転出	その他 増減数	人口 増減率 (%)	自然 増減率 (%)	社会 増減率 (%)
				出生	死亡								
長野県計	2,000,991	1,985,513	△ 15,478	△ 18,139	10,709	28,848	2,661	43,163	39,762	△ 740	△ 0.77	△ 0.91	0.13
長野市	363,986	361,045	△ 2,941	△ 2,838	2,080	4,918	△ 103	10,633	10,673	△ 63	△ 0.81	△ 0.78	△ 0.03
松本市	238,369	237,005	△ 1,364	△ 1,474	1,457	2,931	110	9,389	9,208	△ 71	△ 0.57	△ 0.62	0.05
塩尻市	66,088	65,668	△ 420	△ 447	424	871	27	2,596	2,550	△ 19	△ 0.64	△ 0.68	0.04
安曇野市	93,179	92,801	△ 378	△ 845	442	1,287	467	3,271	2,853	49	△ 0.41	△ 0.91	0.50
佐久市	97,159	96,859	△ 303	△ 806	550	1,356	503	3,926	3,442	19	△ 0.31	△ 0.83	0.52
市計	1,609,087	1,596,925	△ 12,162	△ 13,464	8,930	22,394	1,302	55,867	54,280	△ 285	△ 0.76	△ 0.84	0.08
郡計	391,514	388,001	△ 3,513	△ 4,675	1,779	6,454	1,162	19,508	17,891	△ 455	△ 0.90	△ 1.19	0.30

(3) 自然増減の推移（松本市）

死亡数は過去最多の2,931人（昨年比+10人）、出生数は1,457人（昨年比+10人）で、自然増減は昨年と変わらず△1,474人の減少幅となった。

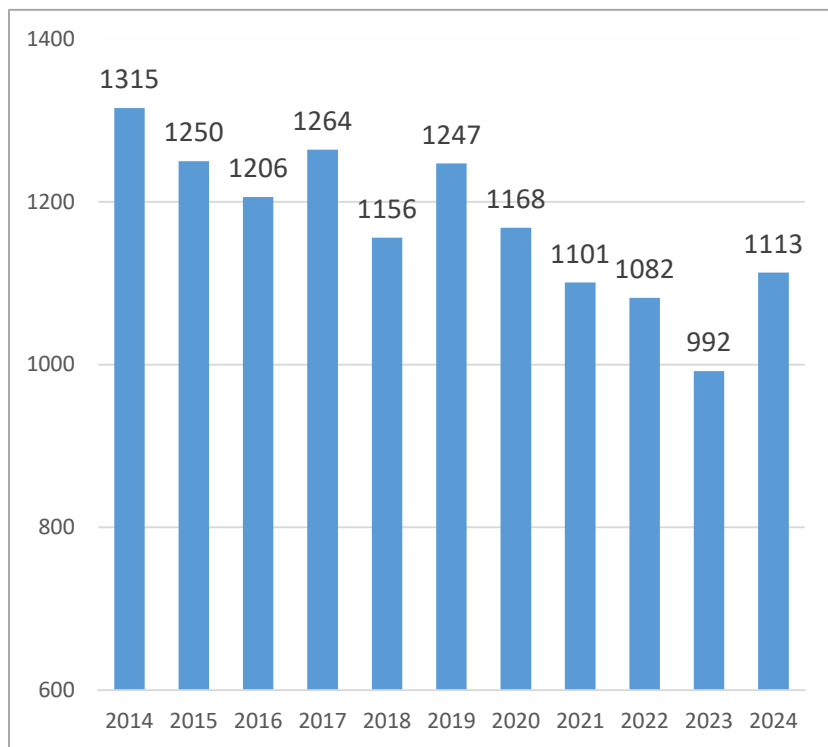
松本市の出生数・死亡数の推移（人）



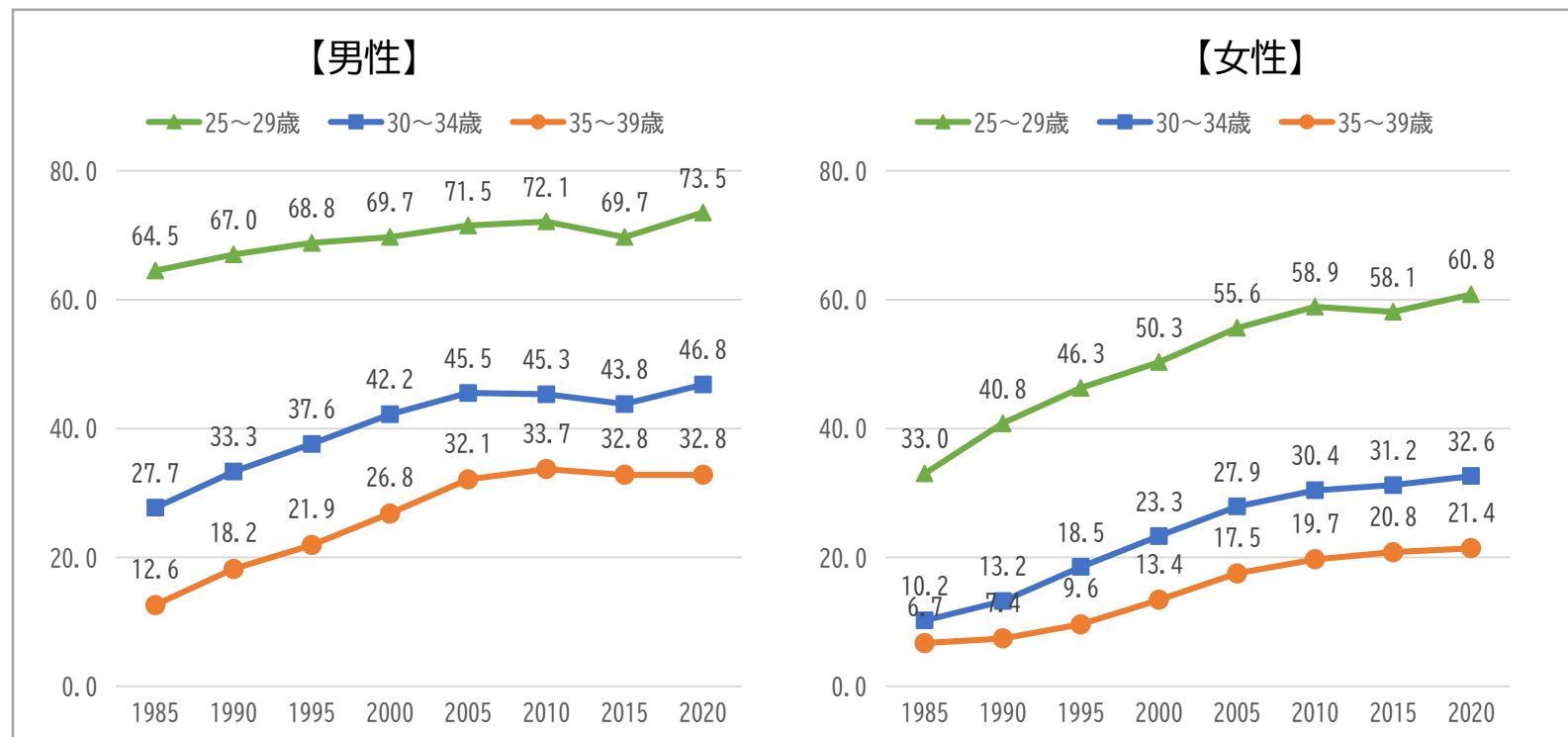
(参考資料) 婚姻の状況

- 未婚率は、男女ともに全年齢層で増加傾向であり、特に、女性の25～29歳未婚率は、1985年の調査時の約2倍の数値となっている。
- 一方で、新型コロナウイルス感染症の収束後、本市における婚姻届受理件数は2024年に増加に転じた。

婚姻届受理件数の推移（松本市）



未婚率の推移（松本市）

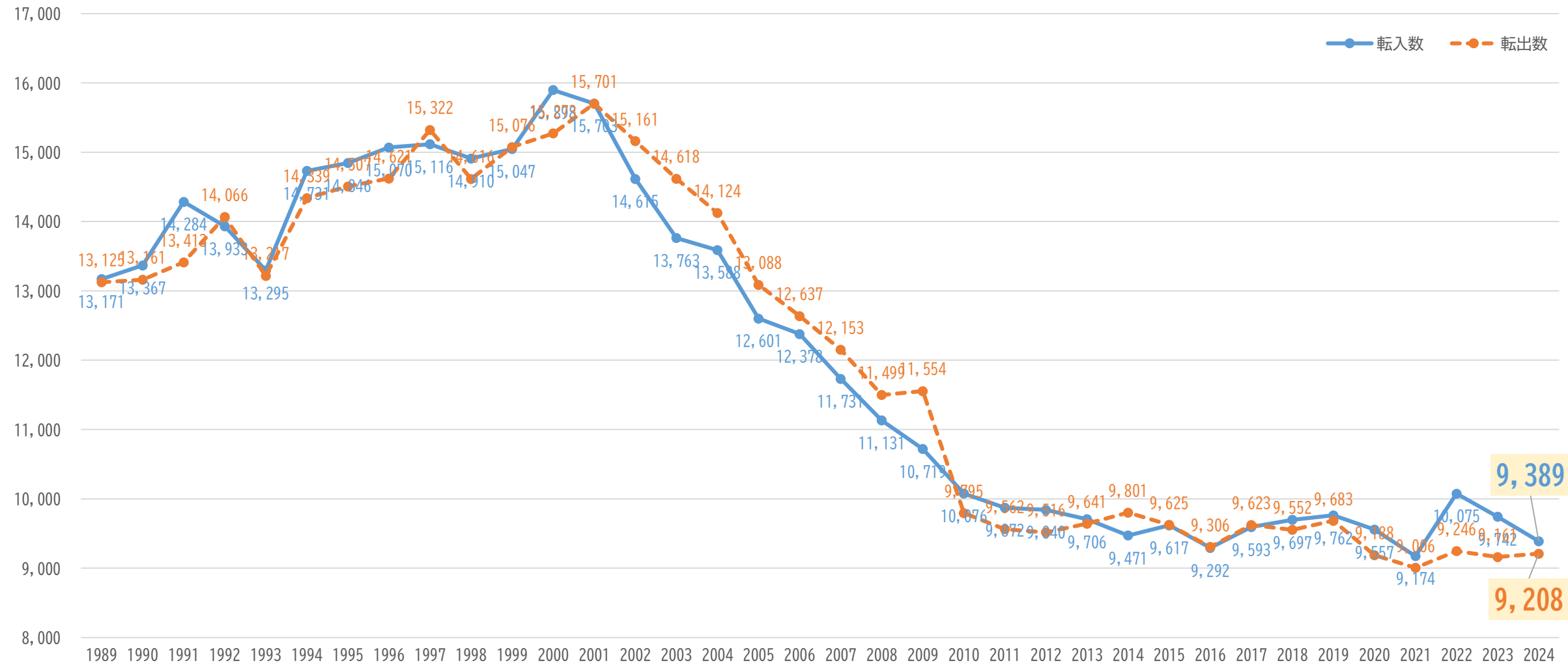


参考：国勢調査（総務省）

(4) 社会増減の推移

転入は9,389人、転出は9,208人で、社会増減は+181人（その他増減を含めると+110人）となった。

松本市の転入数・転出数の推移（人）



(参考) 転入・転出の状況

- 前年に引き続き、東京都への転出者数が最も多く、東京圏や大都市圏への転出が継続している。
- 前年に引き続き、長野市、安曇野市への転出超過数が多い。

県外との転入・転出

(人数)

2024 県外

県外 $\Delta 88$ 人
転入 8,507人
転出 8,595人

都道府県	転入	転出	社会増減
神奈川県	504	452	+52
新潟県	196	146	+50
愛知県	403	364	+39
岐阜県	99	64	+35
福岡県	85	58	+27
⋮	⋮	⋮	⋮
三重県	53	65	$\Delta 12$
宮城県	63	80	$\Delta 17$
群馬県	166	197	$\Delta 31$
埼玉県	327	386	$\Delta 59$
東京都	923	1,064	$\Delta 141$

2023 県外

県外 +369人
転入 8,965人
転出 8,596人

都道府県	転入	転出	社会増減
兵庫県	135	88	+47
千葉県	279	237	+42
福岡県	93	65	+28
宮城県	84	58	+26
青森県	39	15	+24
⋮	⋮	⋮	⋮
山梨県	162	174	$\Delta 12$
愛知県	353	368	$\Delta 15$
大阪府	177	214	$\Delta 37$
埼玉県	346	409	$\Delta 63$
東京都	894	1,057	$\Delta 163$

県内市町村との転入・転出

(人数)

2024 長野県内

県内 $\Delta 196$ 人
転入 3,725人
転出 3,921人

都道府県	転入	転出	社会増減
飯田市	139	99	+40
諏訪市	131	95	+36
木曽町	42	15	+27
小諸市	39	17	+22
岡谷市	121	104	+17
⋮	⋮	⋮	⋮
中野市	23	47	$\Delta 24$
南箕輪村	31	65	$\Delta 34$
塩尻市	575	617	$\Delta 42$
安曇野市	650	803	$\Delta 153$
長野市	639	817	$\Delta 178$

2023 長野県内

県内 +245人
転入 4,003人
転出 3,758人

県内市町村	転入	転出	社会増減
塩尻市	637	576	+61
諏訪市	164	117	+47
飯田市	162	118	+44
大町市	93	54	+39
岡谷市	112	75	+37
⋮	⋮	⋮	⋮
南箕輪村	28	49	$\Delta 21$
上田市	202	230	$\Delta 28$
池田町	0	31	$\Delta 31$
長野市	666	753	$\Delta 87$
安曇野市	641	739	$\Delta 98$

5 今後の取組み

(1) 成果指標の達成

令和7年度は、第11次基本計画の最終年度となることから、これまでの成果指標の達成状況について全体的な検証を行うとともに、その中で明らかになった課題を整理します。

(2) 国の支援メニュー及び民間活力の活用

新しい地方経済・生活環境創生交付金を始めとする、国の支援メニューを積極的に活用するとともに、国の制度改革により、令和9年度まで延長された地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用を図りながら、官民連携による取組みを推進します。

(3) 「人口定常化」の実現

人口減少が続く中、「人口定常化」の実現は非常に難しい目標ですが、何よりも重要なのは、出生数増、社会増に全力でチャレンジし続けることであり、女性と若者に選ばれる、結婚や子育ての希望を叶えられる、子どもが主人公のまちづくりを全面展開することで、人口定常化を目指します。

(4) 中心市街地の再設計・再活性に向けた取組み

松本市中心市街地再設計検討会議からの提言に加え、市議会からの中心市街地のまちづくりに関する提言並びに市民フォーラム及び市公式LINEに寄せられた意見等を踏まえ、中心市街地の再設計・再活性の具現化に向け、スピード感を持って取り組みます。

(5) 第3期松本版地方創生総合戦略の策定

第3期松本版地方創生総合戦略（令和8年～12年）を、第12次基本計画に包含する形で策定を進めます。